

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	社会福祉法人幸知会 トータスジュニア自治医大		公表日	令和 8年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じてスペースを区切り、人数が集中しないよう時間や配置を調整している。	柔軟なレイアウト変更をさらに工夫したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの特性、利用状況に合わせて役割分担を行い、安全面を優先して配置している。	突発対応時に余裕が持てるよう、応援体制をより明確にしたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚支援やスケジュール提示を行い、見通しの持てる環境づくりをしている。	掲示物が増えすぎないよう整理し、さらに分かりやすい構造化を進めたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃と消毒を徹底し、活動内容に応じて空間を整えている。	収納や備品配置を見直し、より快適な動線づくりを行いたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションや個室を活用し、クールダウン対応を行っている。	より安定して使用できるスペースの確保を検討したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定例会議で目標と振り返りを共有し、改善点を話し合っている。	様々な意見がより反映される仕組みを強化したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回のアンケートを実施し、結果を会議で共有している。	結果のフィードバック方法をさらに分かりやすくしたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議内で意見を出せる時間を確保し、改善提案を受け付けている。	出た意見の実行までのスピードを高めたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		同法人内での研修等を行い、意見交換を行っている。	意見交換を行う実施頻度を増やしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		同法人内での研修等を行い、意見交換を行っている。	意見交換を行う実施頻度を増やしたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの内容や目標について明確にして提示している	細かな内容の更新頻度を高めたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		職員間でお子様の現段階の様子を踏まえた、中間評価を行い、計画を見直している。	標準化ツールの活用を増やしたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間でお子様の現段階の様子を踏まえた、中間評価を行い、計画を見直している。	十分な検討時間を確保したい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有フォルダや会議で計画を周知している。	細部の共有が図れていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の観察、利用記録を丁寧に残している。	フォーマルな評価ツールを積極的に取り入れたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人・家族を意識して支援項目を設定している。	地域に関しての項目が弱いので、地域支援の具体性を高めたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動は複数職員で話し合いながら立案している。	準備時間をより確保したい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動内容を定期的に見直している。	細かな内容の更新頻度を高めたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団を目的に応じて組み合わせている。	個別時間の質向上を図りたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に役割確認を行っている。	共有内容をさらに具体化したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		フィードバックで振り返りを実施している。	振り返り内容をより記録化したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を徹底している	記録分析の時間を確保したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っている。	中間確認の機会を増やしたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員が会議に参加している。	事前準備を充実させたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と随時連絡を取り合っている。	情報共有をさらに迅速化したい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		地域児童発達支援センターと連絡は取らせていただいている。	訪問機会や、他の園とのかかわりを増やしたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		送迎時などに、相互に情報を共有している。	その場での情報共有のため、綿密な意見交換等を行うことができていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		機会を設けることができていない。	相談機会を増やしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		戸外活動時や、同法人内の他事業所との交流は設けている。	法人外の事業所との交流機会を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や面談で情報共有している。	共有した情報を職員間でしっかりと把握できるよう努めていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		週年祭の時に家族参加型の参観日を設けた。	継続的な設計ができていないため、今後検討していきたい。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明している。	今後相談があった際にどの職員でも説明できるよう周知徹底したい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時に意向確認をしている。	子どもの声の反映を強化したい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画説明と同意取得を徹底している。	理解度確認を丁寧にしたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時相談に応じている。	面談の時間を確保していきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		同法人内の併用等での交流は図れている。	ニーズに合わせて、きょうだい支援を充実させたい。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口を明示している	周知方法を増やしたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		利用案内と合わせて、月ごとにレクレンダー等作成を行っている。	更新が遅れてしまうこともあるため、時期を決めて行っていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報管理を徹底している。	定期点検を強化したい。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援や簡易表現を活用している。	支援ツールをさらに増やしたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	ご利用者以外との地域交流は図れていない。	周知方法を増やしたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し訓練を実施している。	保護者参加型訓練を検討したい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP策定と定期訓練を行っている。	周知無しの避難訓練等、実践的な機会を設けていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		健康情報を事前確認している。	レク時に都度確認は行っているが、把握漏れの無いよう、今後も徹底していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師指示に基づき安全管理している。	緊急対応訓練を強化したい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を周知している。	説明機会、研修機会を増やしたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画内容を文書で共有している。	周知方法の多様化を図りたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し、委員会に出席している。	再発防止策の検証を強化したい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を実施している。	事例検討を増やしたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の基準を明確化し説明しているが、支援計画への記載は現状行っていない。	定期的な見直しを行いたい。	